一般社団法人 高知県作業療法士会
会員数 696名（平成28年10月末現在）

生活行為向上マネジメント（MTDLP）特別研修会を終えて

教育部　理事　矢野　勇介（近森リハビリテーション病院）

平成28年7月24日（日）、（一社）日本作業療法士協会生活行為向上マネジメント推進プロジェクト特設委員会の委員長である谷川真澄氏（有限会社なるざ）を福井県からお招きして、MTDLP特別研修会を開催することができました。

県内各地から約40名の方が集まり、前半には谷川氏から120分の特別講演をしていただきました。なぜ、今MTDLPなのか、作業療法の歴史と併せ、今後迎える地域包括ケアシステムの中で、作業療法士が力を発揮する手段をもつことの重要性を再認識させていただける内容でした。MTDLPをどのように展開していくのかを、実践例を交えて、MTDLPツールの使い方も含めて丁寧にご講演いただきました。

人ひとりの人生が変わる様を見たとき、これは偶然でもなく、特別な人にしかできない作業療法でもなく、そのプロセスを多くの作業療法士が手に取り実践できるように準備してくれているのがMTDLPであるということも大変理解できました。

作業療法士の可能性に確信を持たせていただける内容であり、もっとたくさんの作業療法士にこの講演を聞いてもらいたい、そのような講演でした。

特別講演の後には、MTDLP実践者研修として事例検討会を行い、谷川氏は全体のファシリテーターを担ってくださいました。先の特別講演でもMTDLPでやるべきことが各々にみえてきたところだったので、グループディスカッションでは活発な意見交換ができました。

何事においても共通することと思いますが、何かを学ぶ時には、最も理解し実践している方のお話を直に聞き、その実践に触れる事で、理解が一気に進みます。今回、MTDLPプロジェクト委員長の谷川氏にご講演いただけたことを、心から感謝いたします。

高知県においては、平成27年度より設置していたMTDLP特設委員会を、今年度からは教育部にMTDLP委員会を編成し、基礎研修会（概論・演習）や実践者研修会（事例報告）を高知県各地で開催しています。基礎研修会においては、今年度より現職者選択研修の必須研修となっています。実践者研修においては、修了者が平成28年8月時点で43名とMTDLPを実践する作業療法士が少しずつ増えてきている状況となっています。MTDLPは作業療法を分かりやすく見える化したツールです。特別なスキルを習得するのとは異なります。皆さんが今まで実践してきた作業療法をより頑丈なものにするツールです。経験のある方も、新人の皆さんも含め、分野問わずこれからも、MTDLPの実践に積極的に取り組んでいただきたいと思います。皆様の研修会受講をお待ちしております。

リレーフォーライフ（RFL）2016高知

事業部長　竹上　寿彦（海辺の杜ホスピタル）

この度、平成28年10月8～9日に開催されたRFLに参加しました。秋雨前線の影響で天候には恵まれませんでしたが、多くの士会員の皆様のご協力により、24時間タスキを繋いで完歩することができました。ご協力してくださった会員や関係者の皆様に心から感謝いたします。

このRFLは「がんの征圧」をテーマに、がん患者や家族、関係機関、各職能団体等が集い、24時間タスキを繋いで歩くというイベントです。（一社）高知県作業療法士会（以下、県士会）は今年で3回目の参加となりました。RFLに参加されている方々に対して作業療法を認知してもらい、また必要とされる職能集団になるようにとの想いで啓発活動を行いました。

県士会からは全部で38名が参加し、2～4人で1組となり1時間交代で歩いてタスキを繋ぎ、その他で待機している方々は和気藹々とBBQを楽しんだり、各々で語り合ったり、また疲れたり眠くなった方は休憩室で仮眠をとったりとそれぞれのペースで過ごしておりました。他の団体では各施設や病院単位で参加されている団体もあり、そこでも何人かのOTが参加して協力されている姿が印象的でした。また、活動に参加された方々の想いや希望が記された「ルミナリエバッグ」という灯篭のようなものがあり、この想いや希望はOTにとって非常に重要な事柄を表現したものであると感じました。

来年も多くのOTがRFLに参加し、活動を通じて繋がり合うことで、よりよい作業療法が提供できるようになるのではないかと思います。このような地域活動に参加し、より身近に感じることで今後の地域展開に繋げていきましょう！皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

施設紹介

訪問看護ステーションそら

代表社員　土居英雄　作業療法士

当事業所は、平成27年8月に高知市鵜来巣にあるあさくらメディカルパークに事業所を開設いたしました。

現在は、看護師3名、作業療法士3名を配置しています。在宅での療養生活を送られているご本人やご家族の「ずっと家で暮らしたい」そんな想いを叶えるため、住み慣れた住まいでその人らしく、日々の生活が過ごせるように看護師と作業療法士が自宅に訪問し、利用者ひとりひとりの生活の課題に合わせた対応を心がけています。

また、地域住民の方々のこころと体の健康を明日の未来へと紡ぐために地域からの依頼を受け、介護予防教室なども適時開催しています。そして、高齢化社会の課題のひとつである認知症ケアへも評価ツールである行動観察方式（AOS）の研修会を通じて貢献しています。

病院を退院しても入院前のような生活を送ることが難しくなる方が少なからずいらっしゃいます。訪問のサービスでは、その人らしい生活を送るために直接的に手段の提案や住環境整備などを行い、ご本人やご家族にとっての「最良の一手」を一緒に考えることができます。その最良の一手としての良質なサービスをこれからも多くの方に提供していきます。

まだまだ開設1年足らずの事業所ですが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

〒780-8083　高知県高知市鵜来巣11番38-8号
あさくらメディカルパーク第2ビル2階
TEL：088-821-9111
FAX：088-821-9122

松本妙子氏に（一社）日本作業療法士協会より永年会員表彰

平成28年9月25日（日）、東京にて設立50周年記念式典が行われました。この式典の中で、昭和41年協会設立の呼びかけに始まり、長年にわたって作業療法の発展へご尽力いただいた松本妙子氏に、その功績をたたえ協会より感謝状が授与されました。

一般社団法人 高知県作業療法士会ニュース 129 号　2016.11.16 発行

平成28年度 学術部学習会のお知らせ

学術部長　岡田　祐一（近森リハビリテーション病院）

平成28年12月17日（土）に西部地区学習会を開催します。環境適応講習会やCVA時期別OT研修会など様々な研修会で講師としても活躍されている土佐リハビリテーションカレッジの箭野豊氏をお招きし、環境適応・中枢神経系疾患の障害像について講義と実技を交えた企画となっています。

次に、平成29年1月21日（土）、22日（日）に神奈川リハビリテーション病院の松本琢磨氏をお招きし、特別研修会を開催します。1日目は脊髄損傷者へのアプローチとして実技をメインに、2日目は他職種も参加できる内容として講義を企画しています。松本氏は脊髄損傷作業療法研究会の代表で、各地で研修会を行っていますが高知では初の開催となっています。この機会にぜひ他職種もお誘いの上、参加してみてください！

なお、詳細は後日案内文を発送いたしますので、たくさんのご参加をお待ちしています！

第15回高知県作業療法学会のお知らせ

高知県作業療法学会実行委員会　永崎　慎人（図南病院）

日　時：平成29年5月20日（土）・21日（日）
テーマ：「知って、活かそう、地域包括ケアシステム」

現在、団塊世代が75歳を迎える2025年に向け、住み慣れた地域で暮らし続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの構築が急務となっています。その中でOTの役割は自立支援・介護予防であり、特に「活動」と「参加」の支援に期待が高まっています。今後は、より包括的な視点が重要であり、対象者にとって意味のある生活活動の支援が必要となっています。学会を通し、少しでも地域包括ケアシステムについての理解を深めていただき、OTの役割について考える機会になれば幸いです。

是非、学会への参加をよろしくお願いいたします。

問い合わせ先：kouchi.otgakkai15@gmail.com

研修会資料（DVD）の貸し出しやってます！

福利部長　山内　元貴（高知病院）

会員の皆様こんにちは、福利部長の山内です。今回は福利部で行っている『研修会資料の貸し出し』について紹介します。（一社）高知県作業療法士会では、その時々に応じて、作業療法士に求められていることや必要な技術・知識に関する研修会や学習会を開催しています。

研修会や学習会に参加したかったのに、勤務等によりどうしても日程の都合がつけられずに参加できなかった！という方も多いのではないでしょうか！そういう方に朗報です！！福利部では、過去に開催された**研修会資料の貸し出し**をしているんです。

ちょっと借りてみようかな？と思ったそこのあなた！今すぐ県士会ホームページ→福利部→研修会資料貸し出しをクリックしてください。現在の貸出し資料リストがありますよ。興味のある方はぜひお借りください。

やりゆうぞね作業療法2017

事業部長　竹上　寿彦（海辺の杜ホスピタル）

（一社）日本作業療法士協会は今年で設立50周年となります。この50周年を記念して、各都道府県で様々なイベントが行われます。（一社）高知県作業療法士会では、「やりゆうぞね作業療法2017」を平成29年1月9日（月・祝）にイオンモール高知にて開催します。

各病院や施設などで行われている作業療法の目的や作業活動の意味について、作業療法で制作した作品や実際の作業療法場面の写真を見てもらい、説明を行うことで一般市民の方々に理解を深めてもらうことを目的としております。

この半世紀という節目のイベントを、士会を挙げて一緒に盛り上げていきましょう。

お問い合わせ先：TEL 088-841-2288
FAX 088-841-2280